

# 関西の城探訪科

## 第三回講義テーマ“楠木正成の城と魅力”の講義 尾谷雅彦先生

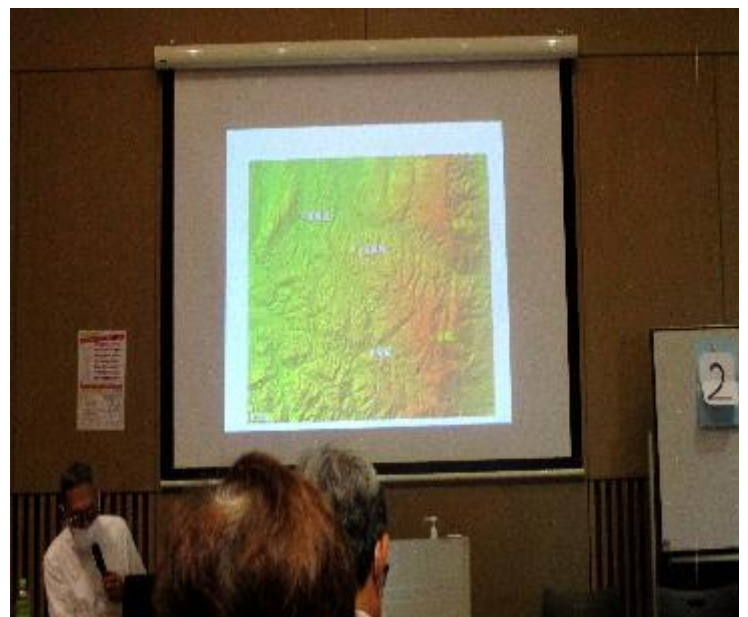
この写真は湊川合戦図屏風から 一班担

2021年7月23日

関西の城探訪科の第三回講義が7月23(金)開催されました。入口でマスク着用確認・検温・手消毒を受け10時からCAより尾谷先生のプロフィールを簡単に紹介頂き、“楠木正成と城の魅力”のお話をレジメとパワーポイントで講義を頂きました。元寇以後の鎌倉幕府の失政と皇位継承問題にからんで楠木正成の登場など太平記を交えて正成は得宗・北条高時の命により静岡楠木村から出て来たと思われます。渡辺党・紀伊国安田庄司湯浅氏・南大和の越智氏を撃滅していることから、後醍醐天皇の倒幕に参加するまでは、得宗家被官であったとされています。興味をそそるお話で楠木正成の城の魅力を話して頂きました。鎌倉時代末から南北朝時代の戦いは、関東武士対関西武士・寺院勢力でした。だが、南北朝期のおもな舞台である京、畿内周辺では山地が多く、楠木正成など悪党として活躍する在地武士層は盆地、平地から山地にかけて拠点としています。そのため、関東武士とは違う戦い方となります。関西武士・寺院勢力は、戦いとなると城を山の上に築き戦います。そうすると馬に乗る戦いよりも歩行による戦いとなり、集団戦となります。ここで言われる“悪党”は既存の勢力に対抗する意だそうです。正成の館跡の話も面白かったです。先生ありがとうございました。

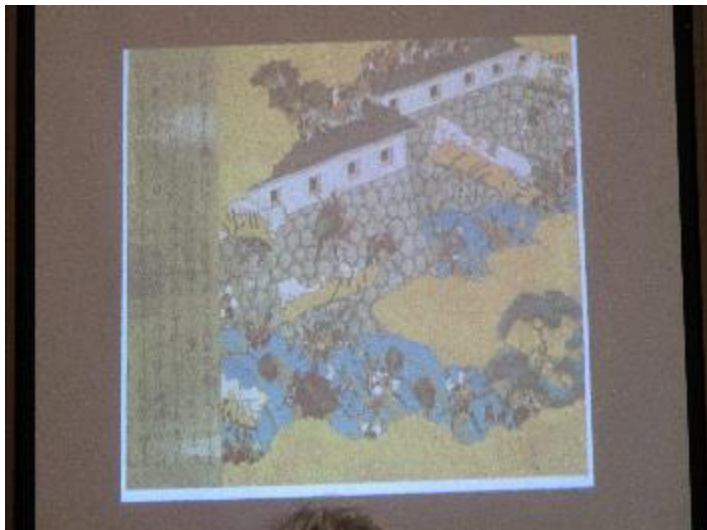
①レジメに沿っていろいろパワーポイントを使つての説明頂きました。

写真は抜粋にて使用



本日テーマ『楠木正成の城と魅力』の講義

山城の説明



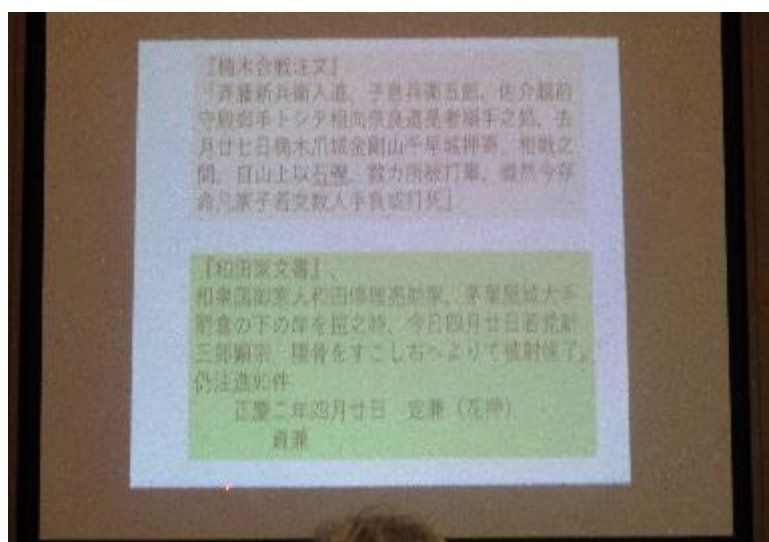
赤坂城の攻防丸太落とし



赤坂城の攻防油攻め



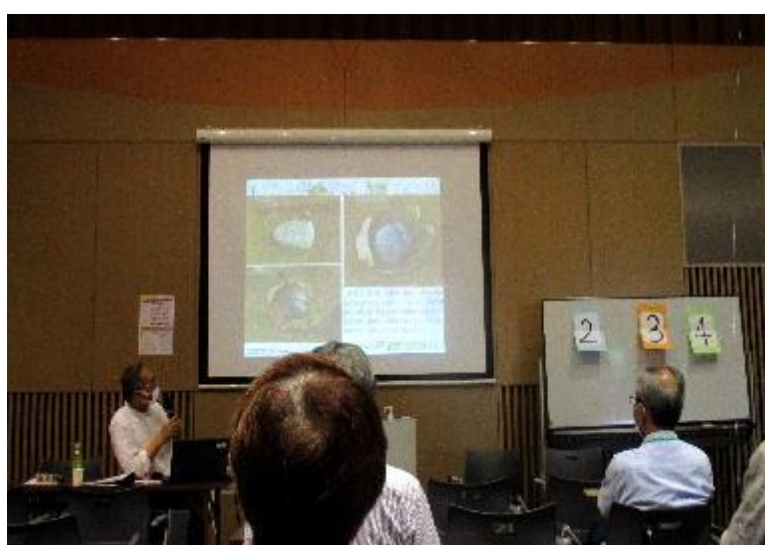
楠木合戦の説明①



楠木合戦の説明②



楠木正成の館跡か？



楠木正成の館跡か 出土土器で説明